

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 浪速区
学 校 名 大阪市立塩草立葉小学校
学校長名 竹内 幸延

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動をご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・塩草立葉小学校では、第6学年 61名が実施

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数とも、平均正答率は大阪市平均を下回っている。また、正答率が8割以上の児童と3割以下の児童がそれぞれ一定数おり、学年全体の学力の2極化が課題である。平均正答率は、

国語 60.0 大阪市平均を7ポイント、全国平均を7.2ポイント下回る。

算数 56.0 大阪市平均を6ポイント、全国平均を6.5ポイント下回る。

平均無解答率（答えをまったく書けなかった割合。下回るほど良好な結果）

国語 2.9% 大阪市平均を0.6ポイント、全国平均を1.9ポイント下回る。

算数 2.8% 大阪市平均を0.3ポイント、全国平均を0.6ポイント下回る。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

正答率が8割以上の児童は、18%。正答率が3割以下の児童は、11.5%。

領域別の平均正答率では、「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」の領域では大阪市平均に近づいている。「話すこと・聞くこと」の領域では、大阪市平均との差は10ポイント以上である。

[算数]

正答率が8割以上の児童は、20.7%。正答率が3割以下の児童は17.2%。

領域別の平均正答率では、「変化と関係」の領域では、大阪市平均を3.6ポイント下回っている。「数と計算」と「データの活用」の領域では、大阪市平均を約7ポイント下回っている。

質問紙調査より

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」や「友だち関係に満足している」に肯定的な回答は、ともに大阪市平均を上回っている。また、「英語の勉強は大切だ」や「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思う」に最も肯定的な「当てはまる」と回答した割合は、全国の平均を上回っている。

一方、「自分にはよいところがあると思う」や「将来の夢や目標を持っている」に肯定的な回答は、ともに大阪市平均を上回っており、自尊感情の育成が課題である。

今後の取組(アクションプラン)

習熟別指導など個に応じた学びや研究授業などを通して、わたりやすい授業をすすめていく。研究授業などを通して教員の指導法向上に取り組むとともに、タブレット端末や書画カメラ、電子黒板などのICT機器の活用や主体的・対話的で深い学びの推進などを積極的に行う。また、日本語指導の必要な児童への取り組みも、充実させる。

学力向上支援チーム事業や大阪市教育委員会指導部第3教育ブロック学力支援事業などのサポートをいただきながら、学力の基礎基本を定着させたい。

【 全体の概要 】

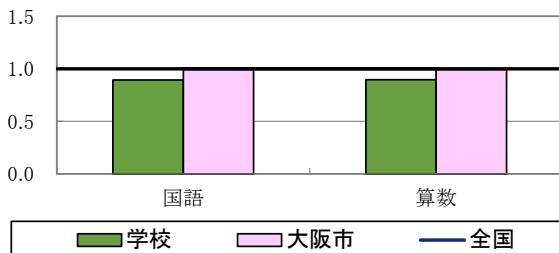
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	60	56
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

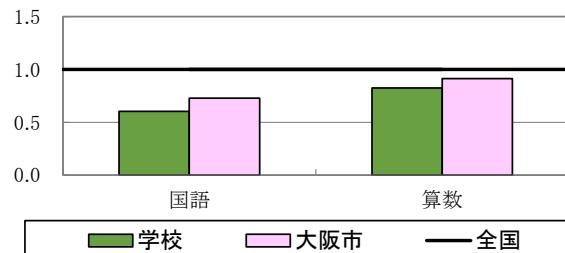
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	2.9	2.8
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



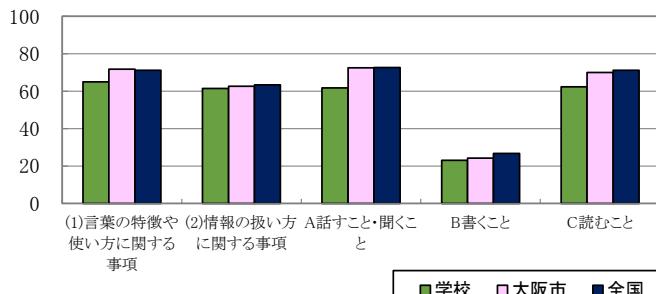
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	64.9	71.7	71.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	61.5	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	61.7	72.4	72.6
B 書くこと	1	23.0	24.2	26.7
C 読むこと	3	62.3	69.9	71.2

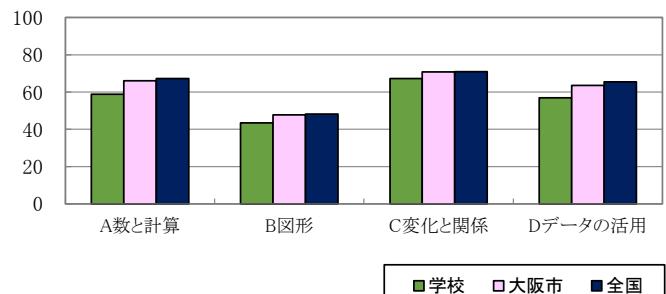
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	58.9	66.1	67.3
B 図形	4	43.5	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	67.2	70.8	70.9
D データの活用	3	56.9	63.6	65.5

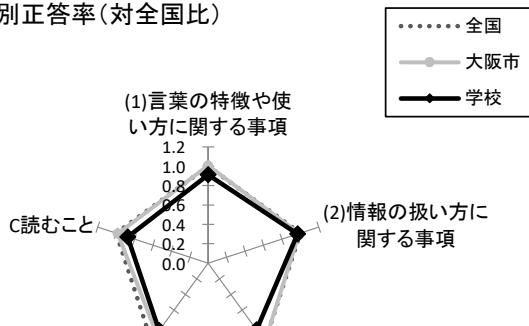
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



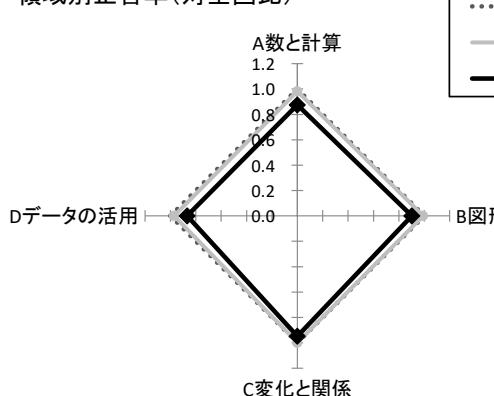
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



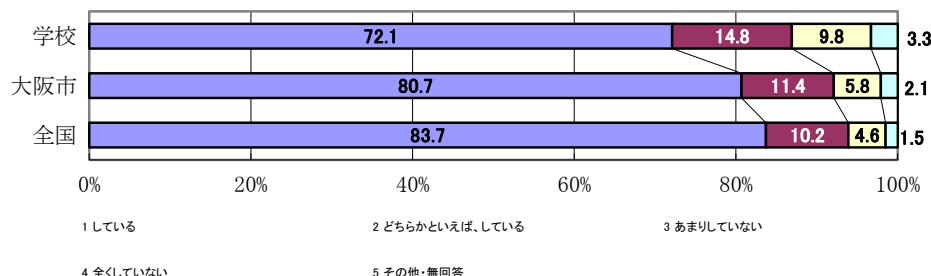
算数 領域別正答率(対全国比)



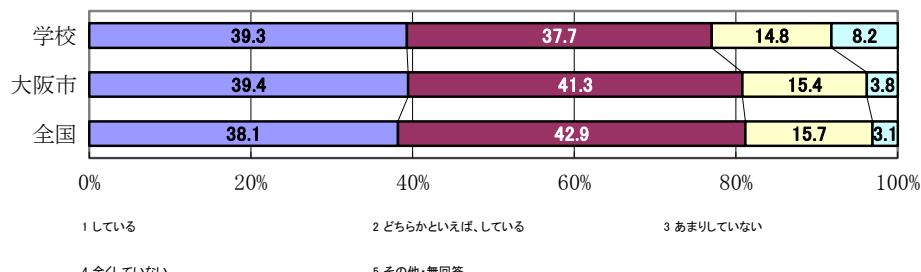
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

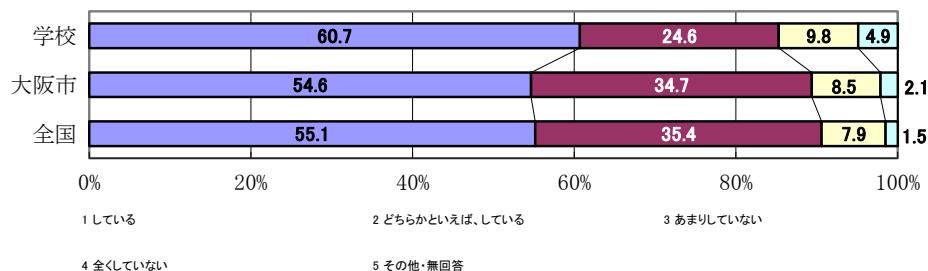
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べている



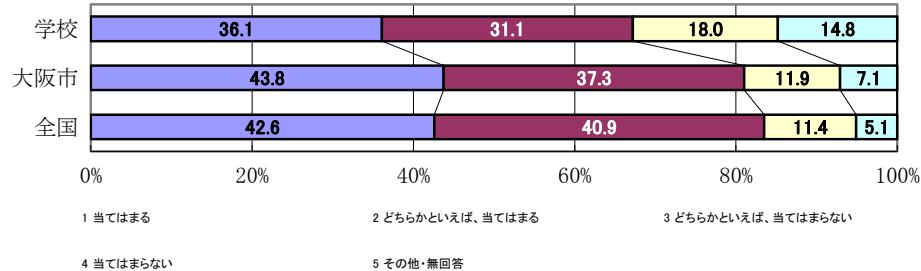
2
毎日、同じくらいの時刻に寝ている



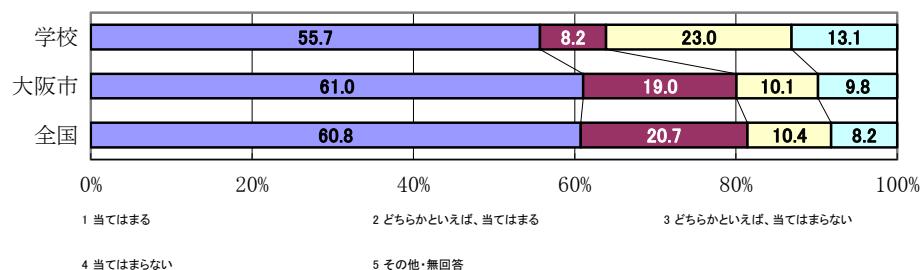
3
毎日、同じくらいの時刻に起きている



4
自分には、よいところがあると思う



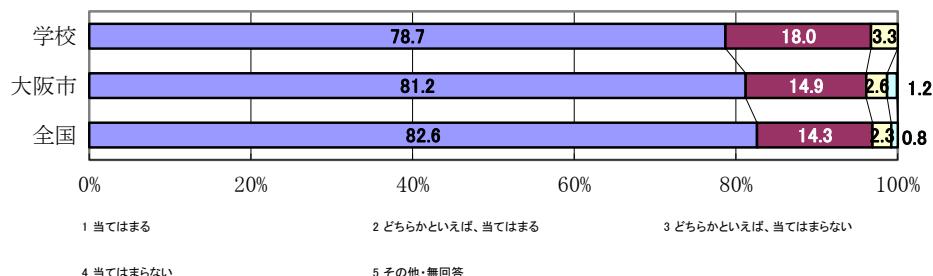
7
将来の夢や目標を持っている



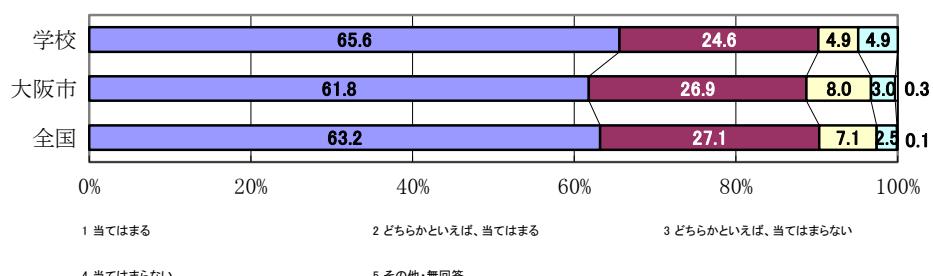
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

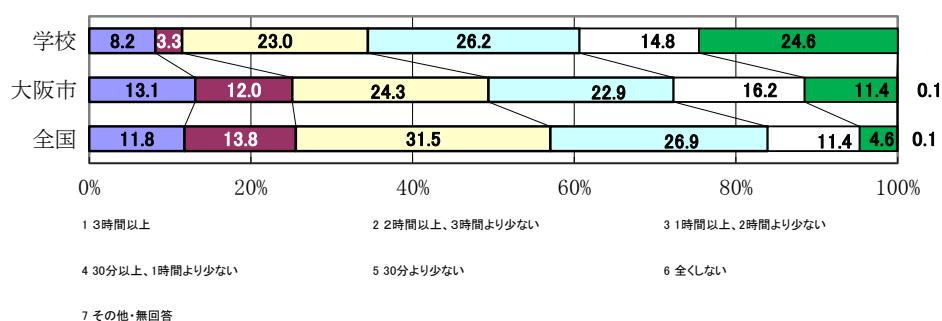
質問番号
質問事項
9
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思う



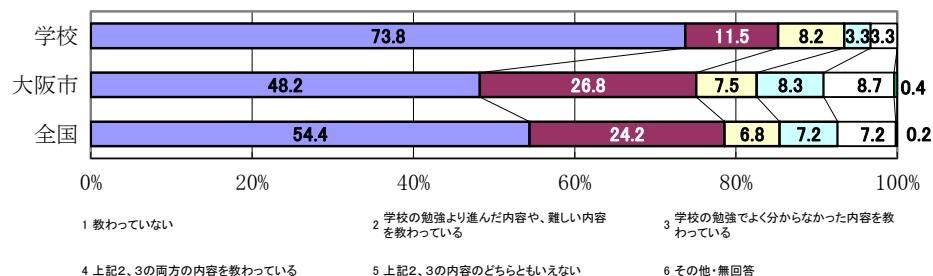
14
友達関係に満足している



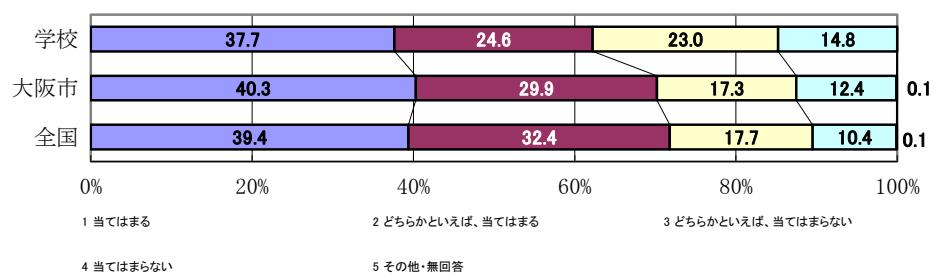
17
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)



19
学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含みます)



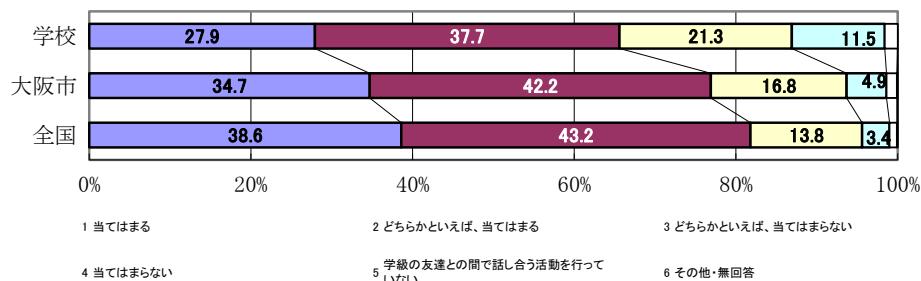
24
読書は好きですか



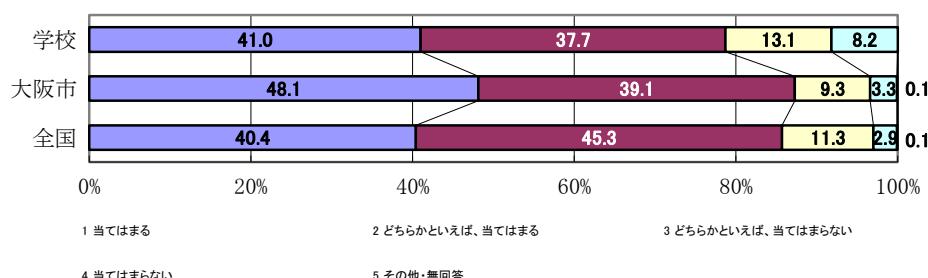
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

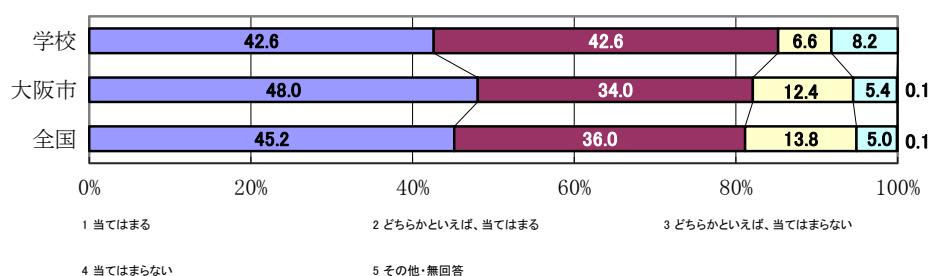
質問番号 質問事項
36
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



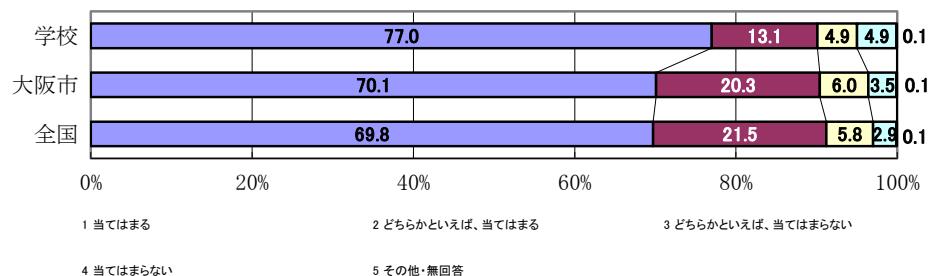
45
国語の授業の内容はよく分かる



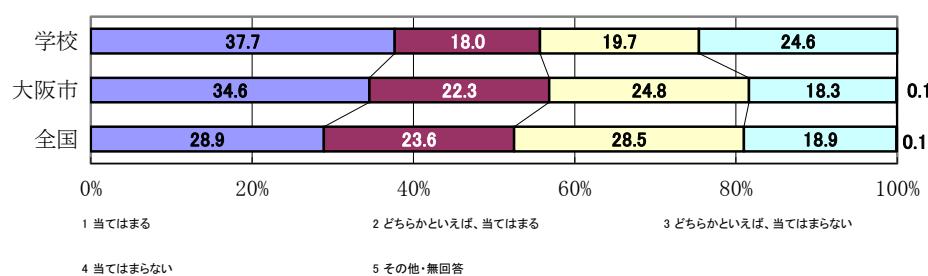
53
算数の授業の内容はよく分かる



56
英語の勉強は大切だ



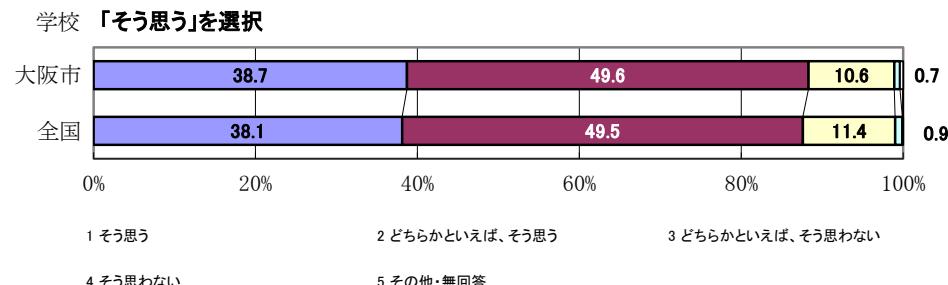
57
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う



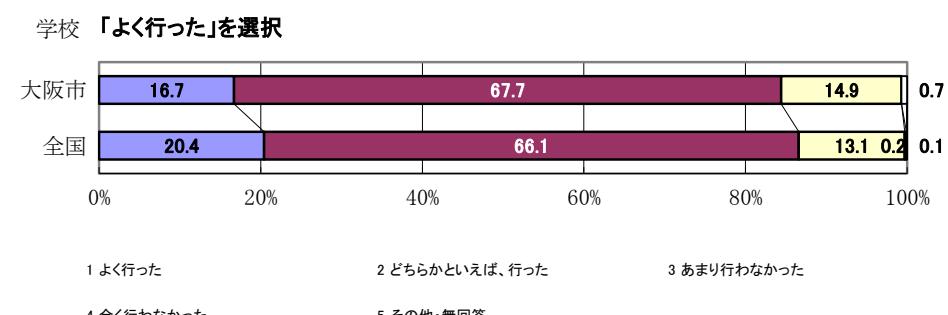
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

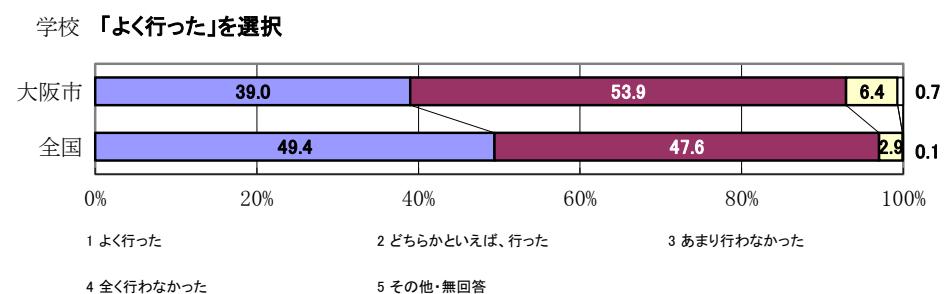
質問番号 質問事項
9
調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いている



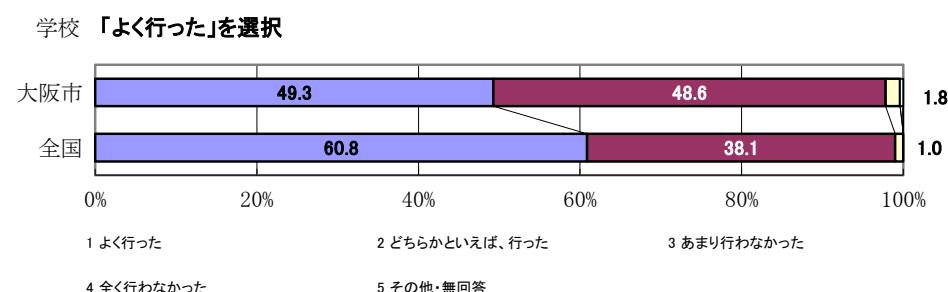
11
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした



12
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた



13
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行った



22
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

